



の ぞ み  
希 望

学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/sugita/> TEL 771-0649



## 共有体験

校長 若色 昌孝

先日、大学教授でもあり〈日本のいのちの教育学会〉の会長でもある近藤卓氏の講演を聞く機会を得ました。氏は一貫して子どもの「自尊感情」を育てることの大切さを主張されていました。氏によれば、自尊感情には、他者に認められて育つ「社会的自尊感情」と、ありのままの自分を受け入れる「基本的自尊感情」があり、この二つの自尊感情のバランスが大切であると説かれていました。また、現代社会では、人からの称賛、評価による社会的自尊感情が肥大化して、結果、人の目を気にしすぎ、今のありのままの自分を大切にしようとする基本的自尊感情が脆弱化しているという問題点にも触れられていました。そして、この基本的自尊感情を育てていくためには、人と共に何かをする「共有体験」こそが大切であると強く説かれていました。

学校では、個の学びからグループの学びへ、グループの学びから集団の学びへという『学びの型』を大切にしています。一人ひとりを大切にしつつ、人とのつながりを生み出そうとしています。一緒に考える、一緒に歌う、一緒に出かける、一緒に作り上げる、一緒に食べる、そして何より一緒に遊ぶ…、これらはまさに学校でできる「共有体験」です。きっと皆様にも、学生時代に多くの共有体験がおありのことと思います。学生時代を思い返してまっ先に思い出すのは、運動会や合唱祭のあのシーンであったり、遠足で友達と一緒に弁当を食べたことであったり、部活動で何かに一生懸命取り組んだことであったり…。

4月、新しい仲間と共に、子どもたちは学級づくり、学年づくりをしてきました。そして今、6月1日に予定されている杉リンピック（運動会）に向けて動き始めたところです。杉田小学校の子どもたちにとって大きな大きな「共有体験」の場です。ご家庭、地域の力をお借りしながら、子どもにとって心に残る杉リンピック（運動会）にしていきます。

前述した近藤氏によれば、地域・家庭での共有体験も子どもの基本的自尊感情には大切だとのこと。地域で友達と一緒に遊ぶ、お祭に参加する、家族と何かをつくる、共に過ごすこと等々。一緒にテレビを観て一緒に笑う…ということも、とても意味あることだとお話しされていました。

今年は明日から10連休となります。子どもたちにいくつかの心温まる共有体験があるといいなと思っています。そして10連休明け、学校で再び、子どもたちと共に価値ある共有体験づくりをしていきます。

